



## 市民生活の 安心安全を要望

公明党横浜市会ニュース  
横浜市議員(港南区)

安西 ひでとし

### 2014年度予算編成で 各分野に対して様々な要望

10月21日、公明党横浜市会議員団は、林文子市長に対し、2014年度予算編成に対する要望をしました。



具体的には、全児童・生徒に携帯型ヘルメットを支給することや突風・竜巻など風害に対する対応、地域防災拠点の受水槽や消火栓の活用による災害時の飲料水確保、中学校昼食にスクールランチの導入、高齢社会の孤立を防ぐ事業の拡充や介護人材の確保などを要望し、林市長も要望を前向きに捉えて頂きました。

### 各分野で要望

10月の決算特別委員会でも公明党市議が様々な要望をしました。

道路局関係では「地域交通サポート事業」の拡充を要望しました。この事業はバス便が通っていない

交通不便地域において、地域が主体となつて新たな交通手段としてコミュニケーションバスなどを導入する際に市が支援する事業です。事業は07年度から始まり、現在までに港南区日野ヶ丘地区を含む5カ所で本格運行を実施しています。一方、バス事業者が運行を決定するまでの実証期間の短さや、その期間の赤字補てん、現在は回数券が利用できないなど。サービス面の課題があります。私たちは課題の解決に加え、敬老バス・福祉パスも使えるようにすることなどを提案しました。

建築局関係では「盛土造成地の安全対策推進」を訴えました。市内には国の基準に基づき、3000平方メートル、盛土5m以上の大規模盛土造成地が約3600カ所ありますが、そのうち、1500カ所です安全性が不足している可能性があります。市は13・14年度で1500カ所の現地調査を実施するとされていますが、私たちは地滑りなど耐震対策の強化と共に、住民への丁寧な説明と支援策を訴えました。

教育委員会関係では「児童生徒の学習環境向上」を求めました。市は普通教室の空調設備設置は進め、今年度で完了予定ですが、図書館を含む特別教室には設置されていません。特別教室にも設置を要望し、教育長から予算や優先順位を見極めつつ、検討していくと答弁がありました。

